

改正後（平成24年10月版）

現行（平成22年10月版）

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3	2	4	1		一般事項 (切込砂利) (碎石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上
						厚 さ t	-30
						延 長 L	各構造物の規格 値による。

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3	2	4	1		一般事項 (切込砂利) (碎石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上
						幅 w	-30
						延 長 L	各構造物の規格 値による。

改正後（平成24年10月版）

現行（平成22年10月版）

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3	2	6	7	6	アスファルト舗装工 (基層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。 <u>平坦性の測定は、舗装・調査試験法便覧による。</u>	(省略)
						幅	-25	-		
						平坦性	-	3 m プロファイルメーター (σ) 2.4mm 以下 長読式 (足付き) (σ) 1.75mm 以下		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3	2	6	7	6	アスファルト舗装工 (基層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。	(省略)
						幅	-25	-		
						平坦性	-	3 m プロファイルメーター (σ) 2.4mm 以下 長読式 (足付き) (σ) 1.75mm 以下		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3	2	6	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。 <u>平坦性の測定は、舗装・調査試験法便覧による。</u>	(省略)
						幅	-25	-		
						平坦性	-	3 m プロファイルメーター (σ) 2.4mm 以下 長読式 (足付き) (σ) 1.75mm 以下		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3	2	6	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。	(省略)
						幅	-25	-		
						平坦性	-	3 m プロファイルメーター (σ) 2.4mm 以下 長読式 (足付き) (σ) 1.75mm 以下		

改正後（平成24年10月版）										現行（平成22年10月版）											
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)										個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。 <u>平坦性の測定は、舗装・調査試験法便覧による。</u>	(省略)	3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。	(省略)
						幅	-25	-													
						平坦性	-	3 m プロファイルメーター (σ) 2.4mm 以下 長読式 (足付き) (σ) 1.75mm 以下													
3	2	6	11	3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。 <u>平坦性の測定は、舗装・調査試験法便覧による。</u>	(省略)	3	2	6	11	3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-2	幅は、測点毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000 m ² に1個の割でコアーを採取して測定。	(省略)
						幅	-25	-													
						平坦性	-	3 m プロファイルメーター (σ) 2.4mm 以下 長読式 (足付き) (σ) 1.75mm 以下													

改正後（平成24年10月版）										現行（平成22年10月版）											
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)										個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚さ	-10	-3.5	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線測点毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定。幅は、測点毎に1箇所の割合で測定。 平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。 <u>平坦性の測定は、舗装・調査試験法便覧による。</u>	(省略)	3	2	6	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚さ	-10	-3.5	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線測点毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定。幅は、測点毎に1箇所の割合で測定。 平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。	(省略)
						幅	-25	-													
						平坦性	-	コンクリートの硬化後、3mプロファイルメーターにより機械舗設の場合 (σ) 2.4mm以下 人力舗設の場合 (σ) 3mm以下													
3	2	6	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚さ	-15	-4.5	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線測点毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定。幅は、測点毎に1箇所の割合で測定。 平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。 <u>平坦性の測定は、舗装・調査試験法便覧による。</u>	(省略)	3	2	6	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚さ	-15	-4.5	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線測点毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定。幅は、測点毎に1箇所の割合で測定。 平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。	(省略)
						幅	-35	-													
						平坦性	-	転圧コンクリートの硬化後、3mプロファイルメーターにより (σ) 2.4mm以下													

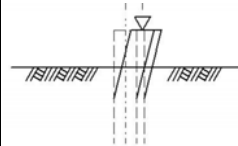
改正後（平成24年10月版）

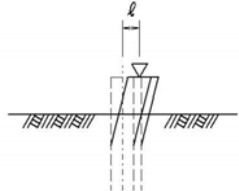
現行（平成22年10月版）

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
							個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)										個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X ₁₀)		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	17		オーバーレイ工	厚さ t	-9		厚さは測点毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、測点毎に1箇所の割合とし、延長20m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変える事が出来る。 <u>平坦性の測定は、舗装・調査試験法便覧による。</u>	(省略)	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	17		オーバーレイ工	厚さ t	-9		厚さは測点毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、測点毎に1箇所の割合とし、延長20m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変える事が出来る。	(省略)
						幅 w	-25														
						延長 L	-100														
						平坦性	-	3 m プロファイルメーター (σ) 2.4 mm 以下 長読式 (足付き) (σ) 1.75 mm 以下													

改正後（平成24年10月版）

現行（平成22年10月版）

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基準 高 ▽	±100	測点毎 (任意仮設は除く)	
						根 入 長	設計値以上		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基準 高 ▽	±100	測点毎 (任意仮設は除く)	
						根 入 長	設計値以上		

(傍線部のみ変更)

出来形管理基準及び規格値 (水道編) 新旧対照表

現行 (平成22年10月版)					改正案 (平成24年10月版)					
編	章	節	条	技番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
14 上 水道 編	1 管 布 設 工 事	5 管 布 設 工 (<u>削</u>)	5 6		ダクタイル 鋳鉄管 (継手接 合)	継付基準ト ルク	+10% - 0%	【受口部】 K形、S形、KF形、UF形 (表内省略)	【フランジ部】 φ300 以上は全箇所、φ300 未満は3箇所に1箇所 (表内省略)	溶接継手チェックシート(出来形管理様式 12-12)に基づいて測定する。 φ75~φ250 までは10箇所に1箇所、 φ300~φ450 までは5箇所に1箇所、 φ500 以上は全箇所測定する。
14 上 水道 編	1 管 布 設 工 事	5 管 布 設 工 (<u>削</u>)	5 6		鋼管 (ス テンレス 鋼鋼管含 む) (継手接 合)	ルートギヤ ツツ S 溶接目違い b	+10% - 0%	【受口部】 K形、S形、KF形、UF形 (表内省略)	【フランジ部】 φ300 以上は全箇所、φ300 未満は3箇所に1箇所 (表内省略)	溶接継手チェックシートに基づいて測定する。 φ75~φ250 までは10箇所に1箇所、 φ300~φ450 までは5箇所に1箇所、 φ500 以上は全箇所測定する。

【受口部】 K形、S形、KF形、UF形
(表内省略)

堅ボルトについては、100N・mとす
る。

φ600 以上は全箇所、φ600 未満は、
口径ごと15箇所に1箇所測定する。

GF形(マルチタツツの場合、フランジ間に0.9mmのす
き間が入ってはならない。

K形、S形、KF形、UF形、フランジ部継手接合に適用し、継手チェックシート(出来形管理様式 12-
5~8 及び12-11)又は、日本ダクタイル鉄管協会発行の接合要領書参考資料の継手チェックシート
に基づき必要な測定を口径ごとに、上表により測定する。

【目違い量及びビルトギヤツツ値】
(表内省略)

溶接継手チェックシート(出来形管理様式 12-12)に基づ
いて測定する。
φ75~φ250 までは10箇所に1箇所、
φ300~φ450 までは5箇所に1箇所、
φ500 以上は全箇所測定する。

【受口部】 K形、S形、KF形、UF形
(表内省略)

堅ボルトについては、100N・mとす
る。

φ600 以上は全箇所、φ600 未満は、
口径ごと15箇所に1箇所測定する。

GF形(マルチタツツの場合、フランジ間に0.9mmのす
き間が入ってはならない。

K形、S形、KF形、UF形、フランジ部継手接合に適用し、日本ダクタイル鉄管協会発行の接合要
領書参考資料の継手チェックシートに基づき必要な測定を口径ごとに、上表により測定する。

【目違い量及びビルトギヤツツ値】
(表内省略)

溶接継手チェックシートに基づいて測定する。
φ75~φ250 までは10箇所に1箇所、
φ300~φ450 までは5箇所に1箇所、
φ500 以上は全箇所測定する。

(傍線部のみ変更)

出来形管理基準及び規格値（水道編）新旧対照表

改正案（平成24年10月版）										現行（平成22年10月版）												
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
14	上水道編	1	5		配水用ポリエチレン管（EP融着継手） リエチレン管 （EP融着継手）	インジケータの隆起		面側とも十方向に隆起する。		配水用ポリエチレン管のEP融着継手に適用し、配水用ポリエチレンパイプシステム協会のEP接合チェックシートに基づいて必要な測定を接合箇所全箇所について測定する。	14	上水道編	5			通水試験	水圧試験	0.40 MPa以上	呼び径800 mm以上の直管部継手 0.50 MPaで5分間測定。	呼び径300 mm～800 mm未満の継手 0.50 MPaで5分間測定。	水圧試験成績表(出来形管理様式12-13)に基づいて、水圧データを記録整理する。	
14	上水道編	12			通水試験	水圧試験	0.40 MPa以上 0.45 MPa以上	継手 0.50 MPaで5分間測定。 呼び径 300 mm～900 mm未満の継手 0.50 MPaで5分間測定。	(省略)	水圧試験成績表に基づいて、水圧データを記録整理する。	14	上水道編	12			通水試験	水圧試験	0.40 MPa以上	0.45 MPa以上	(省略)		
(省略)										(省略)												

